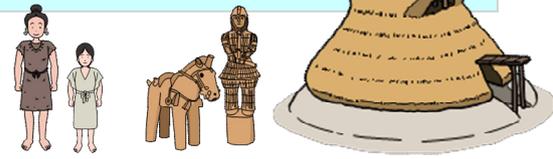


静岡市立蒲原西小学校

出前授業レポート

令和5年4月20日(木)



「地域の遺跡の話、実際に触れる土器の分類は、大変興味深い内容だった！」

今年度最初の出前授業は、センター近隣にある静岡市立蒲原西小学校の6年生24人が、社会科の授業の中の歴史学習の導入として、センターと地域の話、土器の分類体験の2つを行いました。

発掘調査と 周辺遺跡の話

地元でありながら、あまりなじみがないようでしたので、初めに、センターの場所や業務内容を話しました。埋蔵文化財というものがあるのかということの話しながら、土の中から掘り上げられた貴重な遺物などを保存・展示することを伝えました。



次に、蒲原西小学校が、^{かばら}桑原遺跡の上に立地していることや、東名高速道路建設時、試掘していることなど、小学校周辺にも遺跡があることを話したところ、大変興味をもって聞いていました。

・「知らなかった。」

土器の分類体験



・「いつも見ていたけど、初めてくわしく知ってびっくりした。」

まだ歴史の授業が始まっていないので、縄文時代、弥生時代、古墳時代等の歴史の流れを少し話し、そのころ使われていた完形土器を見て、触って、土器の特徴をなんとなく感じ取りながら、土器片を3種類に分けてみました。

・「黒いのは、火を使ったからだと思う。」

・「時代によっていろいろ作り方が違っておもしろい！」

・「なんで色が違うんだろう？」

厚さや色、表面の感触の違いから、縄文土器は分かってきましたが、弥生土器と須恵器の見極めがなかなか難しかったようで、分けるのに苦労していました。最後に作り方の違いを説明することで、見極めが出来ました。

・「楽しかった。」

先生の感想

「地域の遺跡の話、実際に触れる土器の分類活動は、子どもたちにとって大変興味深い内容だった。スライド、実物などを用いて説明していただき、とてもわかりやすかった。授業中だけでなく、休み時間にも子どもたちに暖かく関わってくださっていました。こちらの要望に応じていただき、本当にありがとうございました。機会があれば、センターの見学を試みたいと思いました。」



静岡県埋蔵文化財センター

「新年度になって間もない中で、出前授業を計画してくれた筒井先生、ありがとうございました。」